

令和7年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第3学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策	成果と今後
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字の学習の際に、習得していこうとする姿が見られるが、丁寧に識字をしたり、文を書くときに活用したりすること。 ○音読の宿題に毎日取り組んでいるが、読み取りの学習において、叙述を基に考えること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どの教科においても、既習の漢字を使って書くことを指導していく。漢字練習ノートを活用し、書き順や文字の形を丁寧に指導していく。 ○めあてを明確にすることや、着目するポイントを知らせることで、児童が考えながら音読することができるように指導していく。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習ノートを活用することで、漢字の学習方法が身に付き、自分からすすんで学習することができるようになってきた。 ○「読む」に関する学習において、めあてを明確にすることで、児童が叙述を基に考えることができた。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや思いを相手に伝えたり、相手の考えを受け入れたりできるように、課題解決的な学習で話し合い活動を多く取り入れるようにしていく。
社会科	<ul style="list-style-type: none"> ○八方位や地図記号についての知識は習得しているものの、実際の方角や地図上での読み取りができないこと。 ○グラフや地図を読み取り、時間的、空間的な視点に立って情報を整理する力を養うこと。 ○学習したことから、身近な社会とどのように関わっていけばよいかを考え、実践しようとする事。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地図アプリや町探検を通して、実際の町と地図上の記号を関連付ける活動を取り入れることで、知識と現実を結び付けるようにする。 ○学習単元に合わせたグラフや地図などの資料を用意し、読み取る活動を意図的に設定することで、資料を読み取る技能を高めるようにする。 ○学習のまとめにおいて、学んだことをどう生かしたいか、お世話になっている人とどう関わりたいかなど、具体的な視点をもたせる。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○地図を読んだり、地域探検をしたりすることを通して、学校周辺の施設や環境について理解し、地図や資料と関連付けることができた。 ○グラフや地図などの資料を読み取る学習に繰り返し取り組んだことで、資料から必要な情報を読み取り、考えたことをまとめる力が高まった。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な社会事象について学習することを通して、自分の生活とのかかわりやどのように関わっていくかを考え、実践的にまとめていく学習を行っていく。
算数科	<ul style="list-style-type: none"> ○九九の定着が不十分だったり、繰り上がり繰り下がり計算で指を使ったりと、既習の技能が身に付いていない児童がいること。 ○文章問題に慣れていないため、問題の意味を考えて立式できなかったり、答え方(主に単位)が適切でなかったりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○繰り返し計算練習をする機会を設ける。学校だけでなく家庭学習でもできるとよい。 ○問題文にアンダーラインを引かせ、何が分かっているのかを共有する。また習熟や発展で扱う問題を増やす。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○習熟度に応じたクラスの展開や指導をすることによって繰り返し計算練習をする機会を設けたことにより、計算技能の習熟をすることができた。 <p><今後></p> <ul style="list-style-type: none"> ○習熟度に応じたクラスの展開や指導を継続して行うことで、繰り返し計算練習をさせていく。

理科	<p>○植物の観察をする際、色、大きさ、変化など視点を確認し文章でまとめる活動を定着させること。</p> <p>○実験を行う際、実験の方法を理解しておらず、予想を立てずに行うことがある。</p> <p>○安全についての意識を高めること。</p>	<p>○観察のポイントをワークシートなどを使って明確にし、分かりやすい観察カードが作れるよう指導していく。</p> <p>○課題・実験・道具・手順・予想・結果・考察といった手順を明確にし、この順序で学習をしていくということを、年間を通して学ばせる。</p> <p>○理科の学習では危険があることを理解させ、安全に行うための正しい知識を身に付ける。</p>	<p><成果></p> <p>○観察のポイント(形、色、におい等)を理解し、そこに着目して観察カードを記入することができるようになった。</p> <p>○実験の流れ、進め方、まとめ方を理解したことで、理科の学習方法が定着した。</p> <p>○実験などでは危険なことが起きることを理解し、安全を配慮して準備などをできるようになった。</p> <p><今後></p> <p>○4年生では危険な実験なども増えるので、より安全に行うことを指導していく。</p>
音楽科	<p>○音楽の知識や技術が豊富な児童が積極的に発言して授業を進めていく傾向があるので、皆でじっくりと考え、全員が発言する機会が少ないこと。</p> <p>○一つの曲に含まれる様々な要素にバランスよく触れて授業を行ってきたが、本時に何を身に付けたのかを振り返る際、論点が絞れず散漫になってしまったこと。</p>	<p>○新しい単元の導入では、既習事項や日常生活と絡めた発問を順番に指名していき、皆が発言することで、活動への意欲を高めるようにする。</p> <p>○曲の中に含まれるたくさんの音楽を特徴付けている要素から、本時に身に付けさせることを厳選して学習計画を立てる。</p>	<p><成果></p> <p>○個別指導やペア活動を多く取り入れたことで、リコーダーや鍵盤ハーモニカに対する苦手意識をもつ児童が減少した。</p> <p>○柔らかい歌声で歌っている児童を称賛し価値付けたことで、丁寧に歌おうとする意識が高まった。</p> <p><今後></p> <p>○音楽会で経験したことをこれからの日々の生活や行事などで生かせるように、担任とも連携して指導していく。</p>
図画工作科	<p>○創作意欲が高く、熱心に取り組む児童が多いが、沢山出て来たアイデアをどのように表現したら良いか考えがまとまらず、混乱してしまう児童が多いこと。</p> <p>○創作意欲が途中で途切れてしまうことがあること。</p>	<p>○一つのテーマを提示し、児童の言葉を拾いながら、発想を膨らませる導入を工夫する。また、制作途中に発想豊かに描き進めている児童の作品を紹介する場面を設ける</p> <p>○作品制作の途中に鑑賞の時間を取り入れたり、参考作品を見せたりして、意欲の持続を図る。また、互いの作品を認め合ったり、教員から声掛けをしたりすることで、児童の創作意欲が持続できるようにする。</p> <p>○教員が常に様々なアイデアをもっておき、児童に適宜紹介することができるようにする。</p>	<p><成果></p> <p>○製作途中に発想豊かに描き進めている児童の作品を紹介することで、様々な表現方法で作品を作ることができた。</p> <p>○作品制作の途中に鑑賞の時間を設けることで、友達の良いところを見つけ、意欲的に取り組むことができた。</p> <p><今後></p> <p>○製作に使う材料や道具をいくつか用意しておき、児童が様々な物に触れあう機会を増やしていく。</p>
体育科	<p>○運動の技能ポイントを精選し、児童がスモールステップで身に付けられるような学習過程を検討する必要があること。</p> <p>○体育ノートに毎回の振り返りにおいて、より具体的に振り返るべきポイントを指導すること。</p>	<p>○教員の実技研修を通して、技能ポイントを洗い出し、運動に対する理解を高めてから授業に臨む。</p> <p>○授業ごとに振り返りで書く視点を指導し、見付けた良さなどについてもできるだけ具体的に書くよう指導する。</p>	<p><成果></p> <p>○安全を意識し、意欲的に運動に取り組む態度が養われた。</p> <p>○運動を通して身に付けたい力や態度を明確に示し、スモールステップで運動に取り組んだことで、運動技能が高まった。</p> <p><今後></p> <p>○学習した運動の日常化や体力を高めるための習慣化を図り、生涯にわたって運動を楽しむ態度を育成していく。</p>

外国語活動	<p>○英語の発音に馴染みがなくても、聞き取ったり、大きな声で繰り返したりすることを全員で楽しめるようにすること。</p> <p>○絵や写真、話し手の表情やジェスチャーなどから何となくの意味を推測すること。</p>	<p>○ALTとの学習の中で、歌やチャンツをたくさん取り入れ楽しく繰り返し英語を口にさせ、英語の音に慣れ親しませるのと同時に、恥ずかしいという思いを克服させる。</p> <p>○写真や絵を見せたり、表情やジェスチャーを意識したデモンストレーションを見せたりすることで、児童にはおおよその意味を推測させやすくする。</p>	<p><成果></p> <p>○歌やチャンツ、ストーリータイムを繰り返し取り組むことで、英語のリズムやジェスチャーに慣れ、楽しんで活動する児童が増えた。</p> <p><今後></p> <p>○学習した外国語を使って交流する機会を引き続き設定し、外国語に慣れ親しむ機会を計画的に設ける。</p>
道徳	<p>○教師が価値に迫れる発問を吟味し、授業を構成していくこと。</p> <p>○児童が、価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていくこと。</p>	<p>○教師が教材分析を十分行った上で、児童の実態を踏まえてねらいを設定する。その上で、価値に迫れる発問を決めていく。</p> <p>○自分の生活の振り返りについて、ペアやグループなどでの話し合いを有効に活用する。</p>	<p><成果></p> <p>○教材分析を踏まえた発問を行ったことで、道徳的価値を意識した学習活動を行うことができた。</p> <p>○学習した価値について日常生活で振り返ったり意識させたりすることで、日常生活に生かそうとする様子が増えた。</p> <p><今後></p> <p>○自分と違う意見や道徳的価値を達成するためにどのように考えたり、他者を受け入れたりすることが必要か考える経験を積ませる。</p>
総合的な学習	<p>○目的意識をもって調べ学習に取り組んだが、必要な情報を選択して整理し、まとめること。</p>	<p>○調べたことから必要な情報を整理することの重要性を示す。情報の吟味の仕方や整理する方法を伝えていく。</p>	<p><成果></p> <p>○情報収集の方法、情報の整理の仕方を知り、活用することができた。</p> <p><今後></p> <p>○調べた情報の吟味の仕方を振り返り、分かりやすく整理できるようにする。</p>